

普及活動情勢報告（令和元年 12 月分）

中央西農業振興センター農業改良普及課

JA高知県土佐市胡瓜部会が現地検討会を開催 ～高夜温条件での栽培管理などについて確認～



温度管理等、熱心に話し合う農家

12月5日、JA高知県土佐市胡瓜部会は現地検討会を開催し、生産者20人が参加しました。販売概要等はJA営農指導員が、黄化えそ病や退緑黄化病等の発生状況について農業改良普及課が情報提供を行いました。併せて種苗会社担当者が、定植後の10月～11月にかけて高夜温が続く、徒長気味で生育してきたことを踏まえ、今後の栽培管理等について説明しました。

生産者からは、新たに導入した品種の特性やウイルス病に対する防除の徹底に理解が深まったとの声がありました。

農業改良普及課では、今後も関係機関と連携してキュウリ産地の維持・発展に向けて支援を行っていきます。

JA高知県土佐市土佐文旦部会が果実分析を実施 ～今年の土佐文旦の出来栄はいかに？～



果実の大きさを計測中のJA職員

12月3～4日、土佐文旦部会は、収穫前の果実分析を農業振興センターで実施しました。

農業改良普及課は、JA等関係機関と協力して、果皮の着色、果実重や果径、果皮厚、糖度、酸度について調査しました。

合計300果を分析したところ、暖秋の影響により果皮の着色がやや遅れ気味で、果実の大きさと糖度は平年並み、酸度は平年より高い結果となりました。

農業改良普及課は、分析結果をJAと連携しながら生産者にフィードバックするとともに、光センサー選果機調整や「てんたん」（ブランド名）候補地の選定、共同出荷場への持込順の調整等に活用していきます。

いの町吾北地区農漁村女性グループ研究会が視察研修を実施 ～本山町汗見川クリスマスバイキングの事例を学ぼう～



試食する女性グループ員

12月8日、吾北地区農漁村女性グループ研究会は、汗見川活性化推進委員会によるクリスマスバイキングを視察しました。

米なすのたたきや里芋の揚げ物などを試食し、「吾北でも里芋の揚げ煮を出しているが、味付けが違っている」、「高校生と共同でバイキングをしてみてもどうか」など意見交換しながら、吾北地区で実施しているバイキングのメニューを改良していくヒントを得るなど有意義な視察研修となりました。

農業改良普及課は、今後も吾北地区農漁村女性グループ研究会主催の農家レストラン運営など、地域に貢献する活動を支援していきます。

いの町小野集落営農組織設立準備委員会(第9回)を開催 ～組織設立に向け、集落営農ビジョンを作成～



ビジョンを検討する参加者

12月10日、小野集落営農組織設立準備委員会は、9回目となる委員会を開催し、メンバーら11人で集落ビジョンや規約案、組織設立後の役員候補者等を検討しました。

農業改良普及課は、これまでの委員会での協議を踏まえ、ビジョンや規約案を作成しました。協議の結果、「無理ない範囲で現状の農地を守り、野菜づくりを楽しもう」のコンセプトでビジョンが策定されるとともに、組織設立後の組合長候補者も決定しました。

農業改良普及課は、年度末の組織設立に向けて、自治会総会の場を活用した地区住民への周知や戸別訪問による組織への加入推進などを支援していきます。